
明日から君に届ける 200字 -時の詩人-

沖荒 夢滝

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

明日から君に届ける200字 - 時の詩人 -

【Nコード】

N4872X

【作者名】

沖荒 夢滝

【あらすじ】

この詩は、今自分が思っていることを書いてあります。初めての詩集ですがお楽しみいただければ幸いです。

たぶんちょうど100から150ですww200字とか言ってるのにww

詩の始まり 新（前書き）

（ - ）

詩の始まり 新

この小説は、2000字の詩を1話ずつ載せていきたいと思っています。

なるべく長い連載にしたいので宜しくですさて、この題名、Poet Of The Times - 時の詩人 - を考えるのに二週間かかりました。

この作品は、初めてのパソコン・携帯両方での連載となります。

今まで投稿していた沖荒夢滝プレゼン短編小説とは、独立していますが、沖荒夢滝プレゼン短編小説でやっているいい言葉集の言葉を基準にした作品も載せていきます。

詩の始まり 新（後書き）

〜（m）
m

あなたが生まれた日？

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「あなたが生まれた日？」

あなたが生まれた日、地球はくるりと回り、

あなたに朝を用意した。

暗い夜を終わらせて

明るい朝日を用意した

[illegible]

100%

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「100%」

人間には100%がない

この自分でさえ、10分後に生きている保証はない

この先1分でさえ、100%生きている保証はない

そんな世界で生きてる人間

そんなルールを決めたのは神

不公平だ

こんな世界で生きているのも人間

人間は不公平だ

END

生きる

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「生きる」

いま、僕は生きている
前に聞いたことがある

いま、地球では3秒に1人の割合で命が生まれている
だが、2秒に1人の割合で命が失われている

僕たちはその大切な1つの命だ

その命を無駄にするようなやつはただのバカだ

END

今を生きる

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「今を生きる」

今を生きる

今を生きる自分

今を生きななければならない自分

今を生きたれない人間

今を生きたくない人間

今を生きたくない人間

今を生きる人間

みんな違う

不公平だ

END

人間

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「人間」

人はいつもいがみ合って、
でも仲良しで
でもいつもケンカして
でも仲直りして
それを繰り返す
いつもそうやって生きて
そして時に死ぬ
いつもそうしてる
そんな人間

END

46億年

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「46億年」

46億年地球はある

その中の400万年を人類が占めてる

46/1にもならない人類

そんな人類がたった50年で地球を壊しつつある

たった100年で動物を絶滅させたことが幾度とある

そんな人類いるのか？

END

君

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「君」

キミはいつも前を見ている

そんな君を見ると頭がもやもやする

キミはなんで

キミはなんで

俺を見てくれないんだ

それは俺が君を見る、いいや前を見ることを怒ったっているから
そんな奴を誰が見る？

END

風

OKIARAMUTAKI PRESENTATION
「風」

風がヒューとふく

キミの髪の毛がひらひら

君の瞳はきらきら

そんな君が

俺は好きだ

そんな俺を

キミは好きか？

E
N
D

[illegible]

人生

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「人生」

今の自分は竹で言うなん節目だ？

たとえば10歳で1節だとして

90歳で9節、100歳で10節だ

未来の自分は、今の自分の積み重ねだ

その節目を積み重ねるから竹はおおきくなるのではないか？

END

あなたが生まれた日？

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「あなたが生まれた日？」

今日、いま、この時を生きているのはなぜか

それはあなたが生まれたからだ

あなたが生まれたから今、このときはある

あなたが生まれなければ

いま、このときはない

今のこのときは生まれたからある

神様があなたにくれた宝物だ

END

いつか

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「いつか」

いつか君は僕のこと忘れちゃうよね？

いや、それが普通

でも、

できれば覚えていてほしいな

それが本音

そんな本音をキミは受け入れてくれる？

もし、もし受け入れてくれたら

その時は一度

「ありがとう」

って言いたいな

END

L e t ' s G o !

O K I A R A M U T A K I P R E S E N T A T I O N

「 L e t ' s G o ! 」

さあまえに

さあまえに

一步を踏み出すんだ

今の自分より

未来の自分を見たいだろう？

だから

さあまえに L e t ' s G o だ！

誰もあなたを邪魔しない

誰もあなたを意気地なしなんて言わない

一步前に踏み出せば！

E N D

ありがとう

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「ありがとう」

ありがとう

この言葉は日本に最も必要な言葉だ
アメリカではthank you
中国では

シェイシェイ

この言葉は世界共通だ
そう、日本を含めて

この言葉を使った人も 言われた人も
気持ちがいい

END

時には

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「時には」

時には頭を休めるクラシックなんてのはどうだ？

「アイネクライネナハトムジーク」

「月光」

モーツァルト

「展覧会の絵」

ムソルグスキー

「四季」春・夏・秋・冬」

ヴィヴァルディ

この曲を聴くと心が安らぐ

そんな曲を見つけてみないか？

END

友

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「友」

今、わかれてしまった友はどこにいるか・・・

日本のどこかで元気にしてるだろうか？

桜が咲くのと同時に君はいなくなっ たね

でも

僕のこととは忘れんなよ！

僕も忘れない！

今度は桜が散るときに再会しような！

END

今までの

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「今までの」

今までの時を振り返ってみると

いろいろなことがあっただろう？

今、生きているこの時間は一生に一度しかない

自分だったら中学一年の時の11月2日はもう来ない

そう思うと

人生は変わらないか？

そう思うと

これからの人生の生き方が変わらないか？

END

いたずらな

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「いたずらな」

いたずらな神様が
僕に*いじわる*した
いたずらな神様が
僕に試練を与えた
「生きる」という
とても大きな試練
いたずらな神様が
世界に試練を与えた
「世界平和」という
叶いつこない試練
そんな試練を
かなえようと頑張っている
人間

END

平凡

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「平凡」

平凡に生きている

僕

中学生という試練

つまらない

いつもがただ単に過ぎていく

寝て、起きて、学校行って、部活して、ご飯食べて

そんな平凡な世界

世界を作ったのは神様

だが、未来を作るのは自分

そう思って世界を見てみた

すると

いつもとは違った。

世界が輝いて見えた

END

君との

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「君との」

キミと会えない時間がこんなにつらいなんて

今までは知らなかった

ただ笑って

ただ分かち合って

今までは知らなかった

いつもいつも一緒にいたから

キミと会えない時間がこんなに胸が苦しくなるなんて・・・

今までとは違う時間が僕を育てる

キミに会いたいな

END

神様

OKIARAMUTAKI PRESENTATION
「神様」

神様は自分を作った

神様は地球を作った

神様は日本を作った

そして

神様は何度も日本を救った

神様は何度も地球を救った

神様は何度も自分を救ってくれた

ならば

自分は誰を救える？

END

思いを

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「思いを」

キミへの思いを伝えたい

だが、

引っ込み思案の僕が告白できるはずがない
でも、

勇気を出すんだ

思いを伝えないほうがよっぽど卑怯だ

思いを伝えた人にほかの人に言われてもいい

思いを伝えなきゃ始まらない！

ザッ

「すっ好きです！」

END

HEIWA

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

世界は平和だ

と言ったら

嘘になる

だが

世界は平和ではない

ሕዝብ

それも嘘になる

つまり

世界は普通だ

だが、

それではない！！

そう思わないか？

E
N
D

[illegible]

子孫

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「子孫」

自分は大人になる

そして子供が生まれる

その子供が大人になり、

また子供が生まれる

その子供が大人になり、

また子供が生まれる

・・・

そうして生命はつながってく

それが一番の理想だな・・・

END

昨日

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「昨日」

昨日こなせなかった

一つのこと

それをこなすために

今日はある

今日こなせなかった

一つのこと

明日につながる

それがいつか

未来につながっていく

矛盾かもしれないが

昨日から始まった

未来への階段でもある

つまりは

未来は自分で作る

END

日記

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「日記」

今日はただの

日記の1ページかもしれないけど

明日になれば2ページになる

明後日になれば3ページになる

一ヶ月で31ページ

一年で365ページ

10年間書き続ければ3650ページになる

それは

人生の積み重ねでもある

つまりは

日記は人生の積み重ねだ

END

涙

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「涙」

君との別れが近くなるにつれて

僕がなく日は多くなつた

君との別れの日にも

たくさん

たくさん

泣いた

笑つてお別れしようと思ったのに

やっぱり泣いてしまった

涙なんかキミに見せたくなかつたのに

やっぱり泣いちゃつたな

強がりを見せたかつた

笑つて、強がりを

END

ジャツジペーパー

OKIARAMUTAKI PRESENTATION
「ジャツジペーパー」

テニスのジャツジペーパーみたいに
未来に向かっていく僕らも書き留められていく
ただ、

素早い動きで相手を倒せば
ジャツジペーパーのは増えて行く
そのように

いつでも
どこでも

素早い動きで1点取ったら
未来へのジャツジペーパーも
は多くつくよな

END

風？

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「風？」

風が僕らの関係を後押しした

風が君と僕との

キスを後押しした

喧嘩をしてしまった時

風がそつとなぐさめてくれた

きつと

キミも風に慰めてもらったのかな・・・

そして

君と別れた日

風は僕と同じ気持ちの寒い風を放った

さみしそくに ヒューっと

END

風？

OKIARAMUTAKI PRESENTATION
「風？」

風は気まぐれ

空を旅する

野を超え山を越え

僕のところにやってきて

僕の気持ちを後押しする

風は気まぐれ

時に雨雲を連れてきて

僕を冷たくぬらす

風は気まぐれ

夏には暑く

冬には冷たい風が吹く

そして春には

暖かい、気持ちのいい

風が吹く

風は気まぐれ

END

お月さま

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「お月さま」

ねえ、なんで月はまあるいの？

なんでだろうねえ・・・

いつからお月さまはあるの？

皆が生まれるずうっとずうっと前から、いつからかあったんだよ

ねえ、なんでお月さまって名前なの？

それはね、人間が勝手にお月さまっていう名前を付けたからだよ、
もしかしたらお月さまはわたしはこんな名前じゃない、もっとかっ
こいい名前だといつかもしれない

誰も本当の名前を知らない

また

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「また」

キミと別れた次の日、

気づくと僕は君のうちの前にいた

楽しかった思い出が、僕をキミの家まで連れて行った

未来の君との想像図…

僕のせいで別れてしまった、悪かったと思ってても、もう謝る必要がないと思ひ込ませて、心のどこかに捨てていた
でも、

頭のどこかでは覚えていて、キミに会いたい、キミに謝りたい、

そんな気持ちが生えたんだ

勇気を出して、キミに謝らなくちゃ！

友情

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「友情」

初めて声をかけた時

君は「宜しく」って言うてくれたよね。

君にとっての友情ってなんだい？

僕にとっての友情って・・・

いつでも分かち合えて、時には喧嘩をしても、仲直りして、それまで以上に友情が深まっていくことかな。

君にとっての友情を

僕は聞かないけど、

いや、聞きたくないんだ・・・

なんか怖くてさ・・・

君にとっての友情を聞くと、僕との関係が崩れる気がしてさ

この日が

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「この日が」

クリスマス

この日が近づくと・・・

いつも思う。

今年は君とどう過ごそうかな・・・

君の喜ぶものをプレゼントするかな・・・

ただ君と一緒にいてあげようかな・・・

派手に飾りつけをして、君をよろこばせようか・・・
でも、

君の本当に喜ぶのって、

何をしてあげればいいのか・・・

君に聞いてみようか・・・

僕は何をしてあげるか

自分で考えればいいのか

わからないなあ

心の中では

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「心の中では」

僕の心の中では、

君のことしかないんだ。

うれしかった時も、

さみしかった時も、

つらかった時も、

悲しかった時も、

いつも

いつも君はそばにいてくれた。

手をつないで、横に座ってくれた。

もしも君が

つらく、悲しくなっちゃっても、

その時はきっと

僕がそばにいてあげるんだ。

きっと、きっと

僕がそばに、いてあげなくちゃいけない気がするんだ・・・
となりに座ってね。

僕らの

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「僕らの」

僕らのクリスマス。

一緒に過ごすと決めたクリスマス。

付き合い始めの僕たちは、

まるで、初めてのクリスマスのように、

ただ、うれしくて・・・

楽しみで、

ずっと大切な思い出にしようと誓い合っていた。

「クリスマスの記念日」

何故だかうれしかった。

無邪気に笑い合っていた小学生のころから、

君はかわいかったよね。

そんな君と、クリスマスを迎えられて、

僕は幸せだよ

聖夜の夜に

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「聖夜の夜に」

聖夜の夜に、

君に伝えたいことがあるんだ
ずっと言えてなかった。

本当に些細な一言。

いつも言おうと思っていたのに、
いつも言えてなかった
ごめんね？

でも、これだけは伝えなきゃダメな気がするんだ。
いつも、まぶしすぎる君の瞳
そんな、そんな君が、

僕は、

「大好きです」

この一言をずっと言いたかった
言えてすっきりしたよ。

それと同時に、もっと君が好きになったよ

メリークリスマス！

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「メリークリスマス！」

メリークリスマス！

君に会えて、君と一緒にクリスマスを迎えられた。
本当にありがとう。

君に会えたことが、一番のクリスマスプレゼントだよ
運命を変えてくれた神様、ありがとう。

本当に、感謝しかできない。

そんな僕に、君がそつと

「来年もいっしょにしようね
と問いかけてくる。

僕には、ただ、ただ

「わかったよ」

とうなずくしかなかった。
うれしすぎてね

これで 終

OKIARAMUTAKI PRESENTATION

「これで」

これで、もしすべてが終わっても

僕の記憶、君との記憶は残る。

たとえ君が別れてくれって言っても

僕の記憶には、きちんと思い出が刻み込まれている。

楽しかった思い出も、悲しかった思い出も。

そのすべてが、

僕の大切な人生なのかな・・・

君はそんなことは言わないよね？

いや、言わないでほしい。

君との大切な日々が、

一生続きますように。

一生の最後に「．」を打とう。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4872x/>

明日から君に届ける200字 -時の詩人-

2011年12月25日19時52分発行